

2025年10月27日
株式会社日本政策金融公庫
旭川支店

北海道中小企業動向調査結果

(2025年7-9月期実績、2025年10-12月期以降見通し)

小企業の景況

(原則従業者20人未満)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

(前回)小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

- 業況判断DIは、前期に比べ8.5ポイント上昇し、▲10.1となった。
来期は今期に比べて18.6ポイント低下する見通し。 ←4ページ
- 売上DIは、前期に比べ7.9ポイント上昇し、▲2.4となった。
来期は今期に比べて12.2ポイント低下する見通し。 ←7ページ
- 採算DIは、前期に比べ6.8ポイント上昇し、▲7.1となった。
来期は今期に比べて3.2ポイント低下する見通し。 ←8ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲10.1(8.5)	▲2.4(7.9)	▲7.1(6.8)	▲12.5(▲1.4)	▲18.1(▲14.8)

中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる。

(前回)中小企業の景況は、一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる。

- 業況判断DIは、前期に比べ、3.1ポイント低下し、5.3となった。
来期は今期に比べて3.7ポイント上昇する見通し。 ←14ページ
- 売上DIは、前期に比べ、11.2ポイント低下し、15.7となった。
来期は今期に比べて3.1ポイント上昇する見通し。 ←16ページ
- 純益率DIは、前期に比べ、5.1ポイント低下し、▲2.6となった。
来期は今期に比べて4.8ポイント低下する見通し。 ←17ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
5.3(▲3.1)	15.7(▲11.2)	▲2.6(▲5.1)	5.1(3.6)	2.7(0.2)

<お問い合わせ>

日本政策金融公庫 旭川支店 国民生活事業
中小企業事業

〒070-0034 旭川市四条通九丁目1704番の12 朝日生命旭川ビル

Tel:0166-23-5241(担当:中村)

Tel:0166-24-4161(担当:早野)

目次

(2025年7-9月期実績、2025年10-12月期以降見通し)

調査結果の概要・・・・・・・・・・ 1

【小企業編】

概況・・・・・・・・・・ 2

調査の実施要領・・・・・・・・・・ 3

業況判断・・・・・・・・・・ 4

売上・・・・・・・・・・ 7

採算・・・・・・・・・・ 8

資金繰り、借入・・・・・・・・・・ 9

経営上の問題点・・・・・・・・・・ 10

設備投資・・・・・・・・・・ 11

【中小企業編】

概況・・・・・・・・・・ 12

調査の実施要領・・・・・・・・・・ 13

業況判断・・・・・・・・・・ 14

売上・・・・・・・・・・ 16

利益・・・・・・・・・・ 17

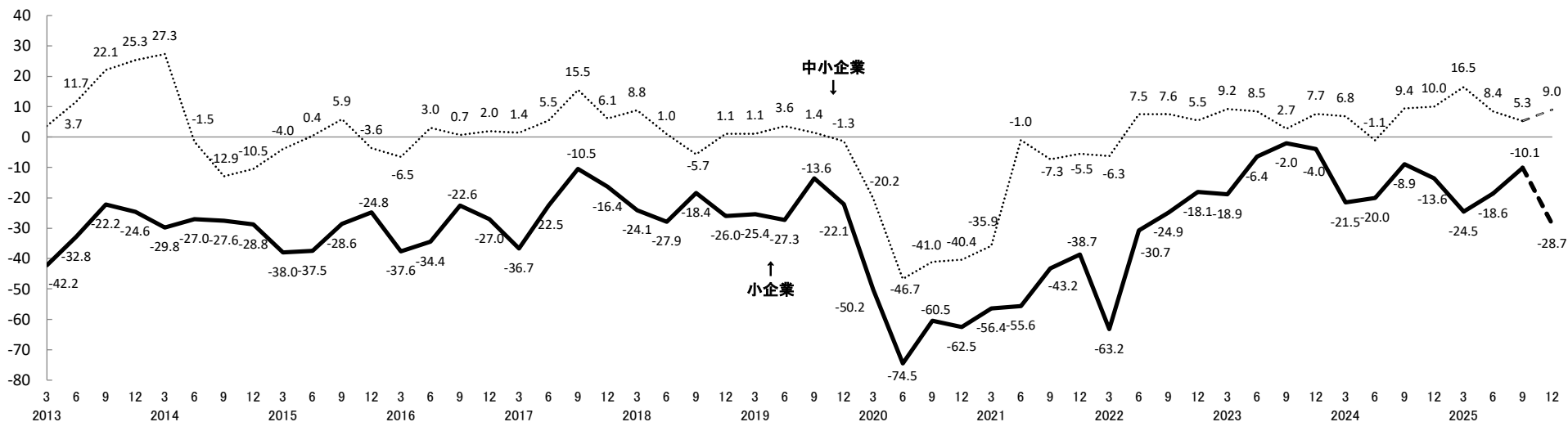
価格、金融関連・・・・・・・・・・ 18

雇用、設備・・・・・・・・・・ 19

経営上の問題点・・・・・・・・・・ 20

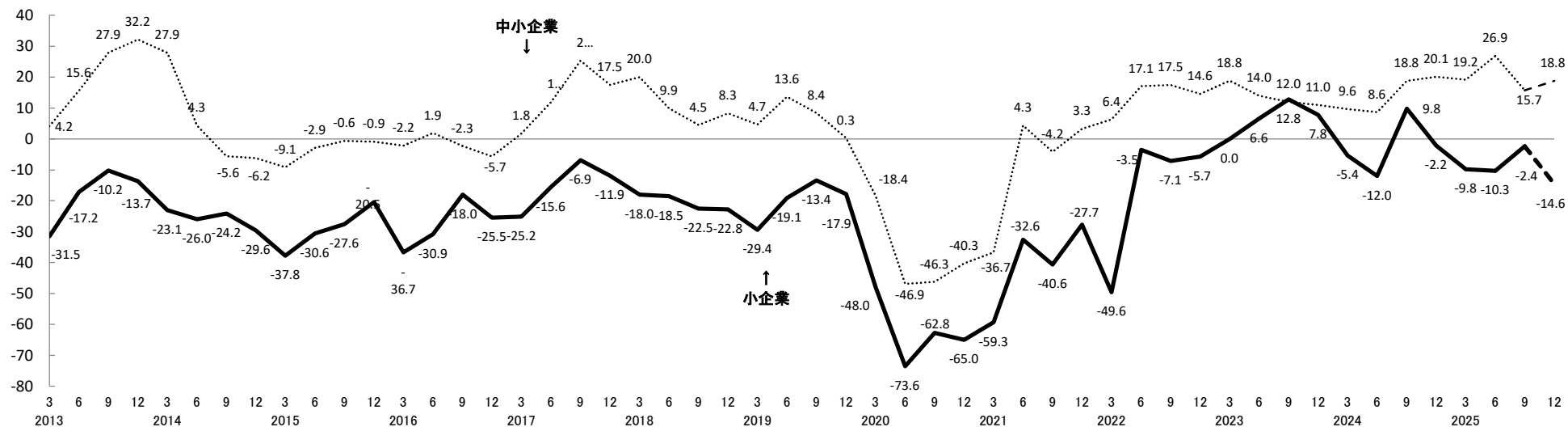
調査結果の概要

○業況判断DIの推移 全業種計



(注)--- は2025年10-12月期見通しである。

○売上DIの推移 全業種計



(注)--- は2025年10-12月期見通しである。

全国中小企業動向調査(小企業編)結果

(2025年7－9月期実績、2025年10－12月期見通し)

北海道地区

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

[概況]

- 業況判断DIは、前期に比べ8.5ポイント上昇し、▲10.1となった。来期は今期に比べ18.6ポイント低下し、▲28.7となる見通し。
- 売上DIは、前期に比べ7.9ポイント上昇し、▲2.4となった。来期は、今期に比べ12.2ポイント低下し、▲14.6となる見通し。
- 採算DIは、前期に比べ6.8ポイント上昇し、▲7.1となった。来期は、今期に比べ3.2ポイント低下し、▲10.3となる見通し。

[調査の実施要領]

調 査 時 点	2025年9月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先 460 企業
有 効 回 答 数	260 企業
有 効 回 答 率	56.5 %

＜業 種 構 成＞

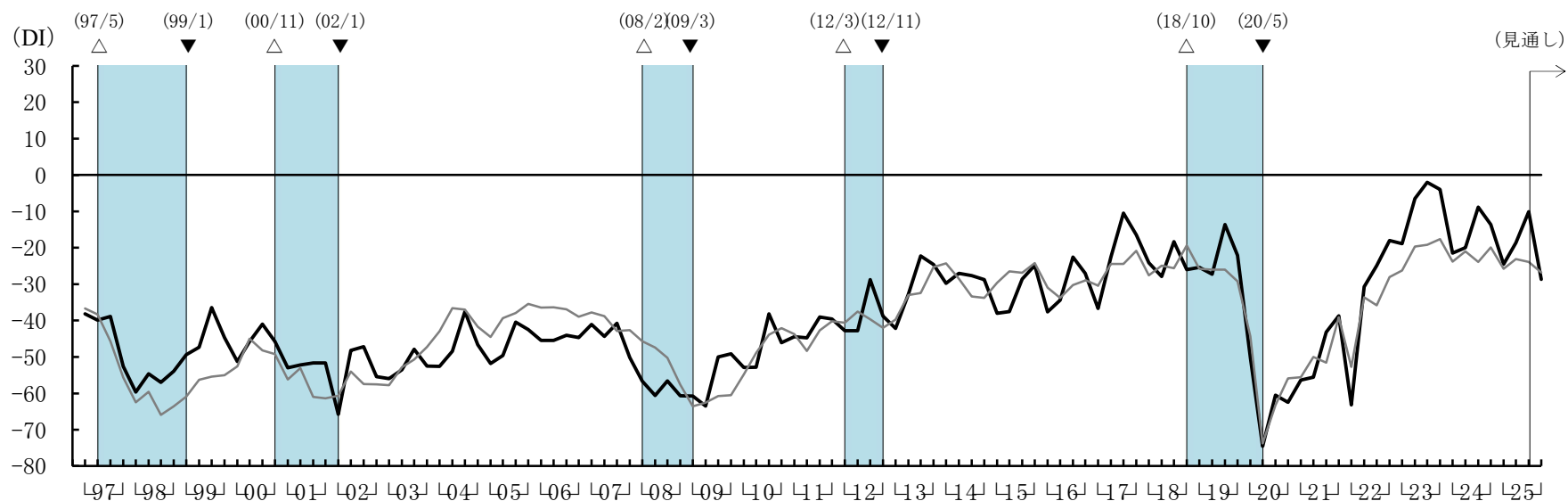
		調査対象	有効回答数			
製 造 業	(従業員20人未満)	35 企業	20 企業	(構成比	7.7	%)
卸 売 業	(同 10人未満)	38 企業	31 企業	(構成比	11.9	%)
小 売 業	(同 10人未満)	113 企業	63 企業	(構成比	24.2	%)
飲 食 店・宿 泊 業	(同 10人未満)	106 企業	47 企業	(構成比	18.1	%)
サ ー ビ ス 業	(同 20人未満)	108 企業	64 企業	(構成比	24.6	%)
情 報 通 信 業	(同 20人未満)	3 企業	2 企業	(構成比	0.8	%)
建 設 業	(同 20人未満)	46 企業	27 企業	(構成比	10.4	%)
運 輸 業	(同 20人未満)	11 企業	6 企業	(構成比	2.3	%)

1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期に比べ、8.5ポイント上昇し、▲10.1となった。
- 来期は今期に比べ、18.6ポイント低下し、▲28.7となる見通し。
- 今期の業況DIを業種別にみると、前期に比べ、運輸業を除くすべての業種が上昇した。
- 来期は、すべての業種が低下する見通し。

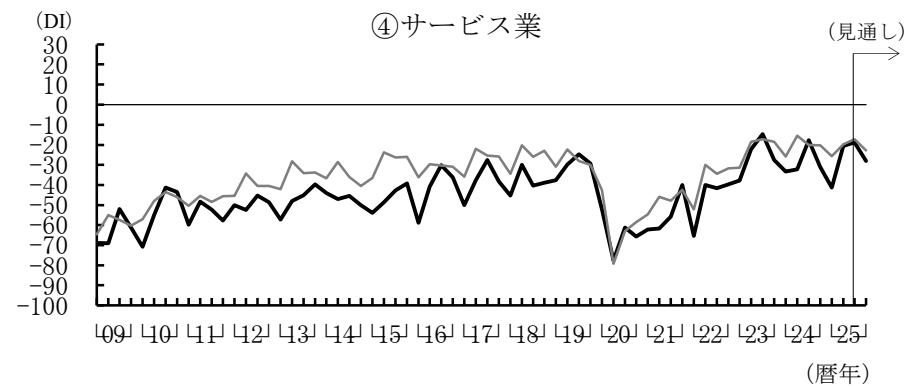
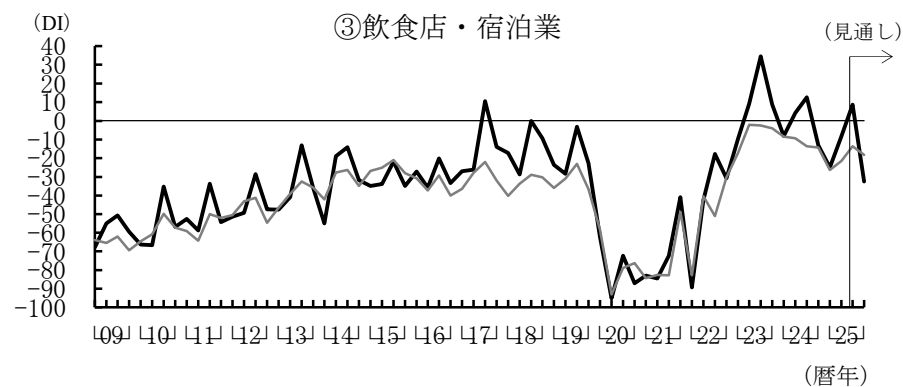
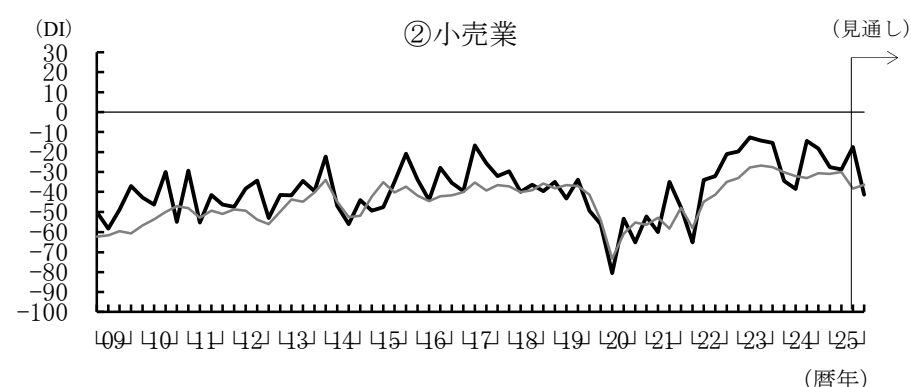
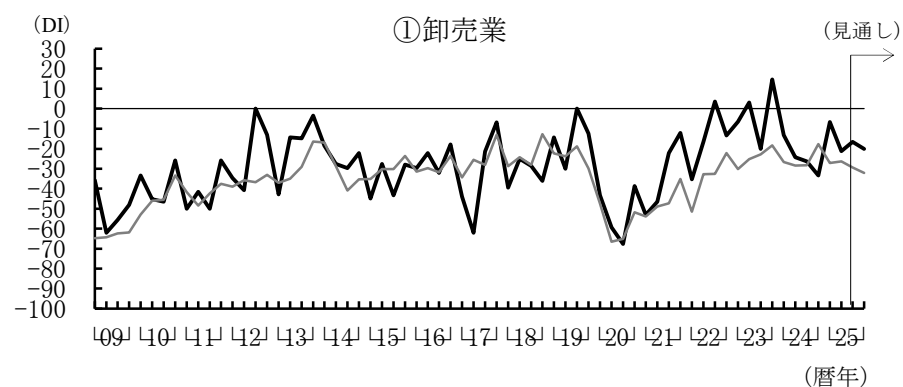
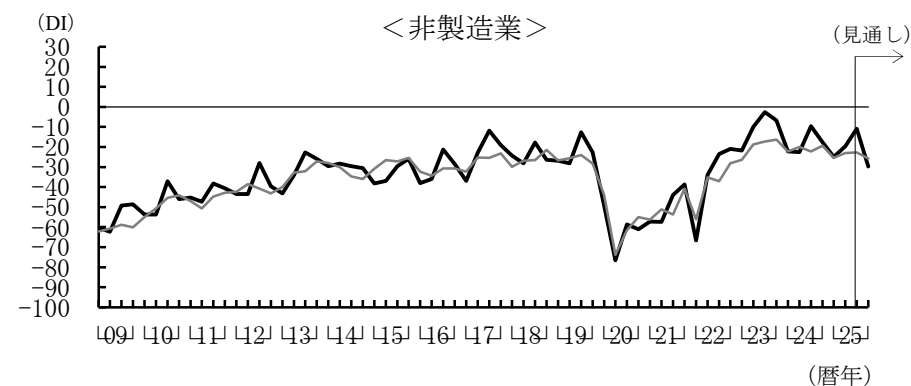
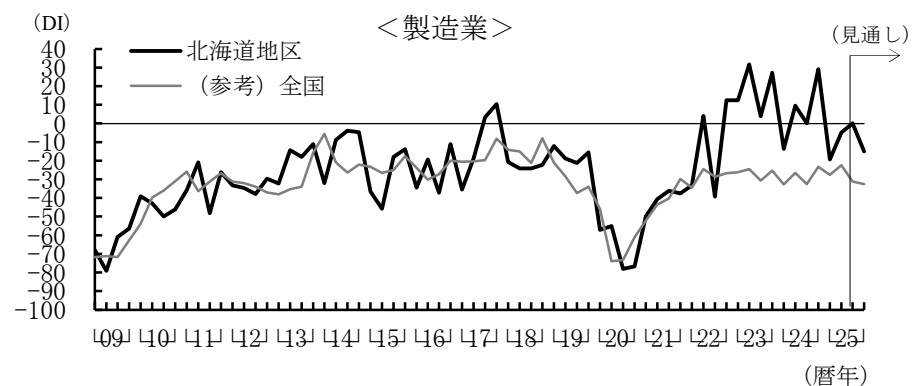
図－1－1 業況判断DIの推移（全業種計）

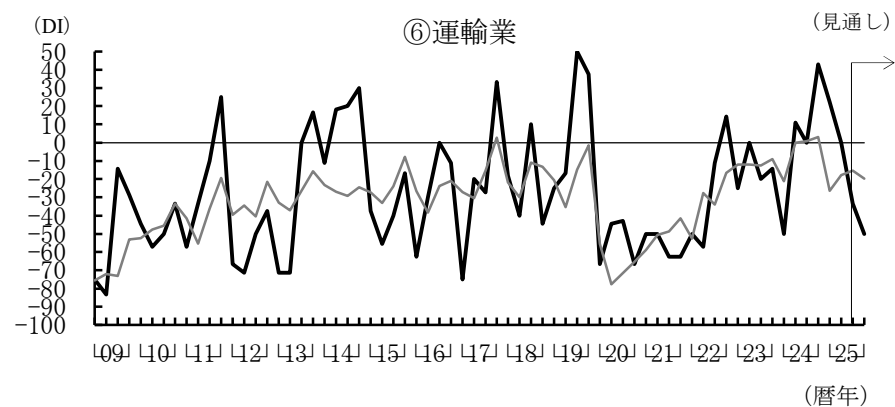
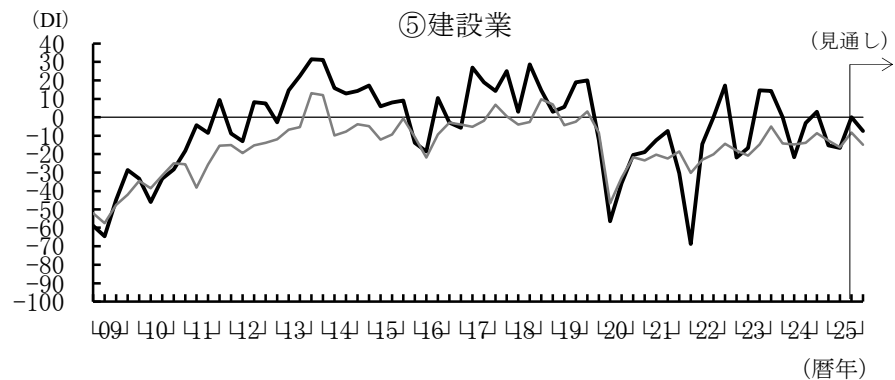
	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
北海道地区	▲ 8.9	▲ 13.6	▲ 24.5	▲ 18.6	▲ 10.1	▲ 28.7
（参考）全国	▲ 23.8	▲ 19.9	▲ 25.8	▲ 23.1	▲ 23.9	▲ 26.8



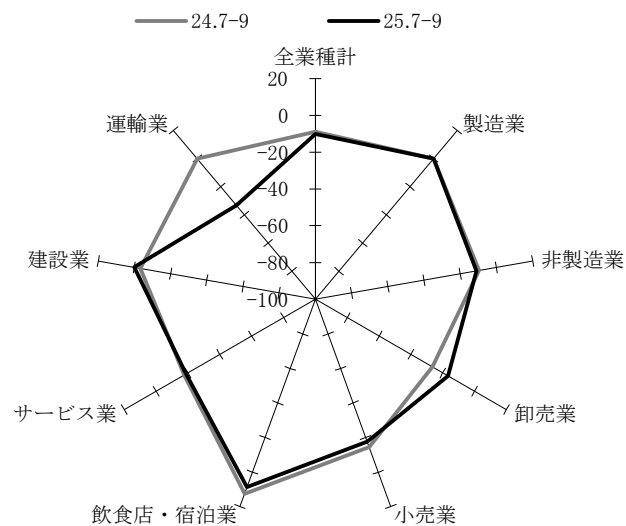
- (注) 1 DIは「良い」企業割合－「悪い」企業割合。
 2 斜体は見通しの値を示している（以下同じ）。
 3 Δは景気の山、▼は景気の谷、シャドー部分は景気後退期を示す（以下同じ）。

図－１－２ 業況判断DIの推移（業種別）





(参考1) 1年前との比較 (北海道地区)



(参考2) 時系列データ (北海道地区)

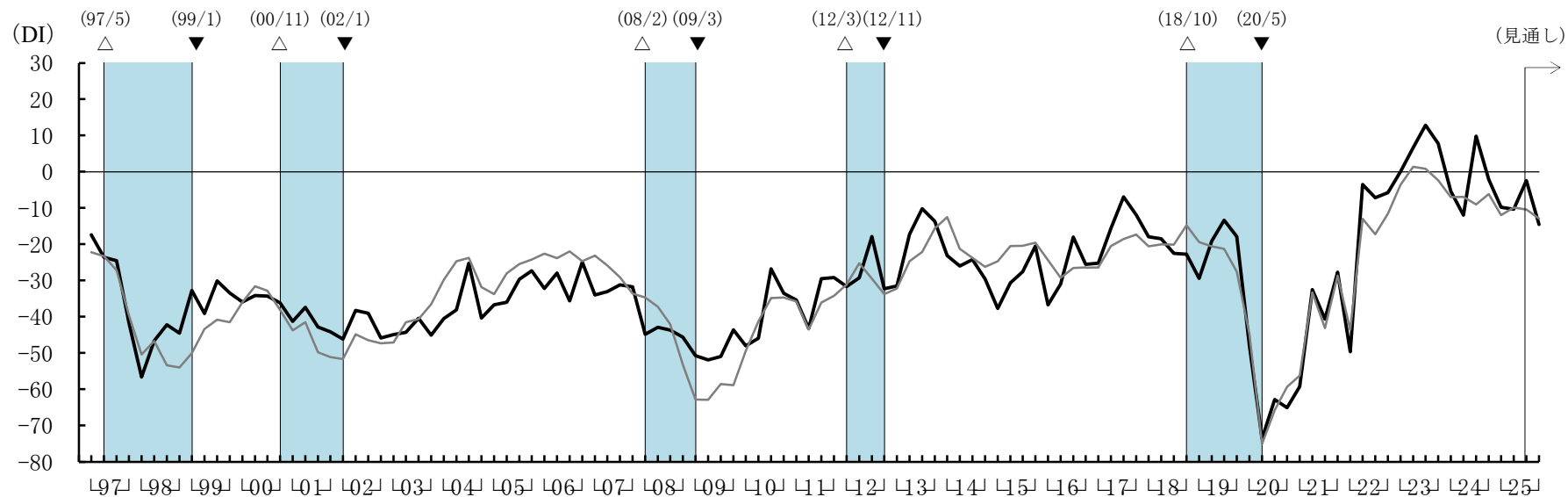
	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
全業種計	▲ 8.9	▲ 13.6	▲ 24.5	▲ 18.6	▲ 10.1	▲ 28.7
製造業	0.0	29.2	▲ 19.2	▲ 5.0	0.0	▲ 15.0
非製造業	▲ 9.6	▲ 17.6	▲ 25.0	▲ 19.7	▲ 10.9	▲ 29.8
卸売業	▲ 26.5	▲ 33.3	▲ 6.7	▲ 21.2	▲ 16.7	▲ 20.0
小売業	▲ 14.5	▲ 18.2	▲ 27.5	▲ 28.6	▲ 17.5	▲ 41.3
飲食店・宿泊業	12.5	▲ 13.1	▲ 25.0	▲ 8.3	8.7	▲ 32.6
サービス業	▲ 17.7	▲ 31.1	▲ 41.2	▲ 20.6	▲ 18.8	▲ 28.1
建設業	▲ 3.2	2.9	▲ 15.4	▲ 16.7	0.0	▲ 7.4
運輸業	0.0	42.9	22.2	0.0	▲ 33.3	▲ 50.0

2 売上

- 今期の売上DI（全業種計）は、前期に比べ、7.9ポイント上昇し、▲2.4となった。
- 来期は、今期に比べ、12.2ポイント低下し、▲14.6となる見通し。

図－2 売上DIの推移（全業種計）

	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
北海道地区	9.8	▲ 2.2	▲ 9.8	▲ 10.3	▲ 2.4	▲ 14.6
(参考) 全国	▲ 9.1	▲ 6.2	▲ 12.0	▲ 9.9	▲ 10.4	▲ 13.0



(注) DIは前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。

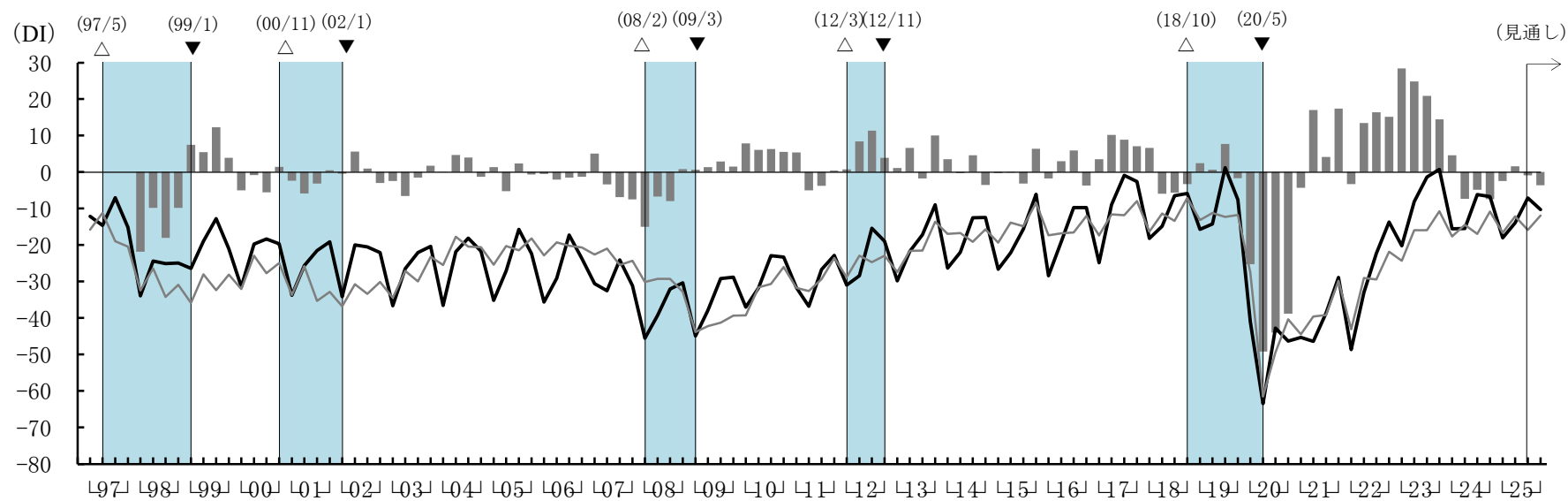
(暦年)

3 採算

- 今期の採算DI（全業種計）は、前期に比べ、6.8ポイント上昇し、▲7.1となった。
- 来期は、今期に比べ、3.2ポイント低下し、▲10.3となる見通し。

図－3 採算DIの推移（全業種計）

	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
北海道地区	▲ 6.2	▲ 6.7	▲ 18.0	▲ 13.9	▲ 7.1	▲ 10.3
前年同期実績との差	-4.8	-7.4	-2.4	1.6	-0.9	-3.6
(参考) 全国	▲ 17.0	▲ 10.8	▲ 16.7	▲ 12.1	▲ 15.8	▲ 11.9



(注) DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

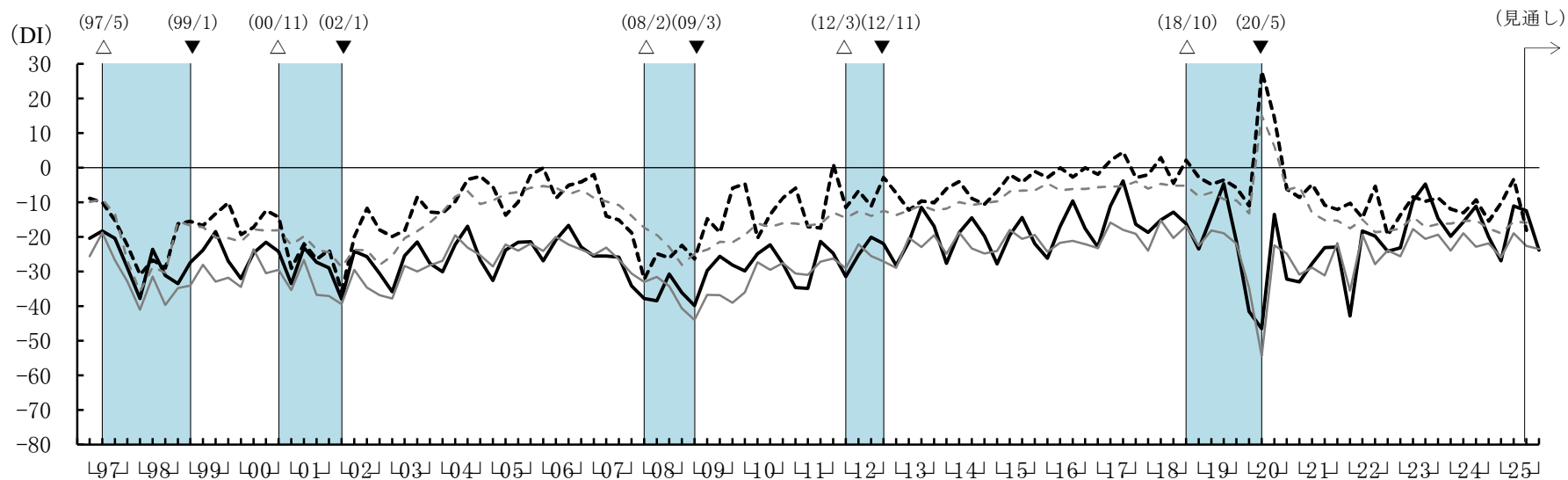
(暦年)

4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期に比べ、1.4ポイント低下し、▲12.5となった。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期に比べ、14.8ポイント低下し、▲18.1となった。

図－4 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
資金繰りDI（北海道地区）	▲ 11.2	▲ 20.0	▲ 26.9	▲ 11.1	▲ 12.5	▲ 23.8
借入DI（北海道地区）	▲ 9.3	▲ 15.4	▲ 10.2	▲ 3.3	▲ 18.1	—
（参考）資金繰りDI（全国）	▲ 22.9	▲ 21.9	▲ 26.0	▲ 18.9	▲ 22.6	▲ 23.5
（参考）借入DI（全国）	▲ 15.3	▲ 17.6	▲ 19.0	▲ 15.6	▲ 15.9	—



- (注) 1 資金繰りDIは前期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合。
2 借入DIは前期比で「容易になった」企業割合－「難しくなった」企業割合。

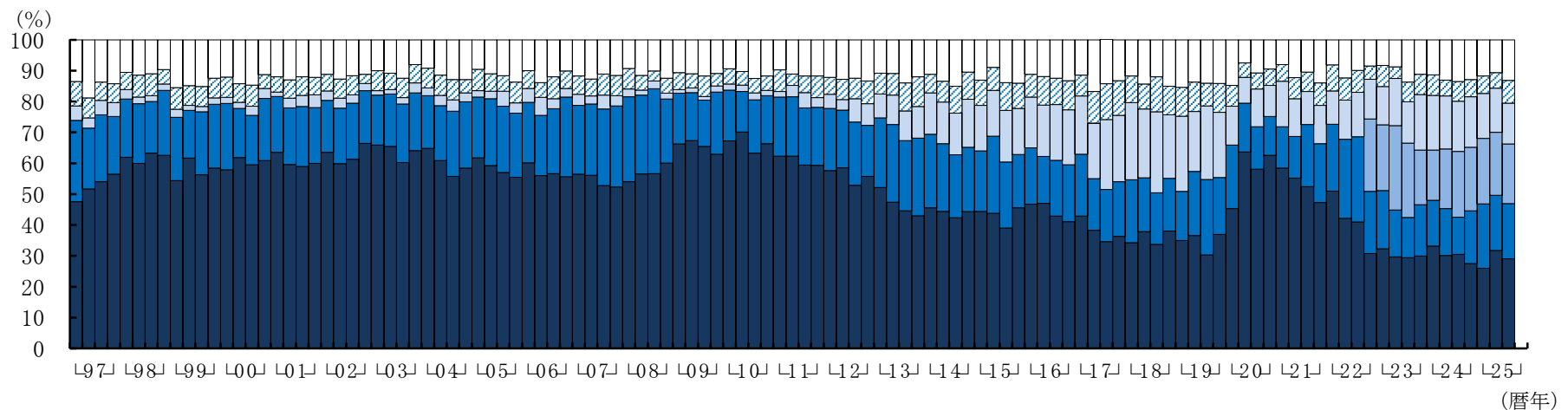
(暦年)

5 経営上の問題点

○ 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が29.1%と最も多く、次いで「原材料高」（19.4%）、「利益減少」（17.8%）の順となっている。

図－5 経営上の問題点の推移（全業種計、北海道地区）

		24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9
売上不振（%）		30.5	27.5	25.9	31.8	29.1
利益減少（%）		12.1	17.1	20.9	17.9	17.8
原材料高（%）		21.3	20.6	21.2	20.4	19.4
求人難（%）		16.3	16.4	14.6	14.2	13.2
設備老朽化等（%）		6.4	5.6	5.7	5.1	7.4
その他、特になし（%）		13.5	12.9	11.7	10.6	13.2



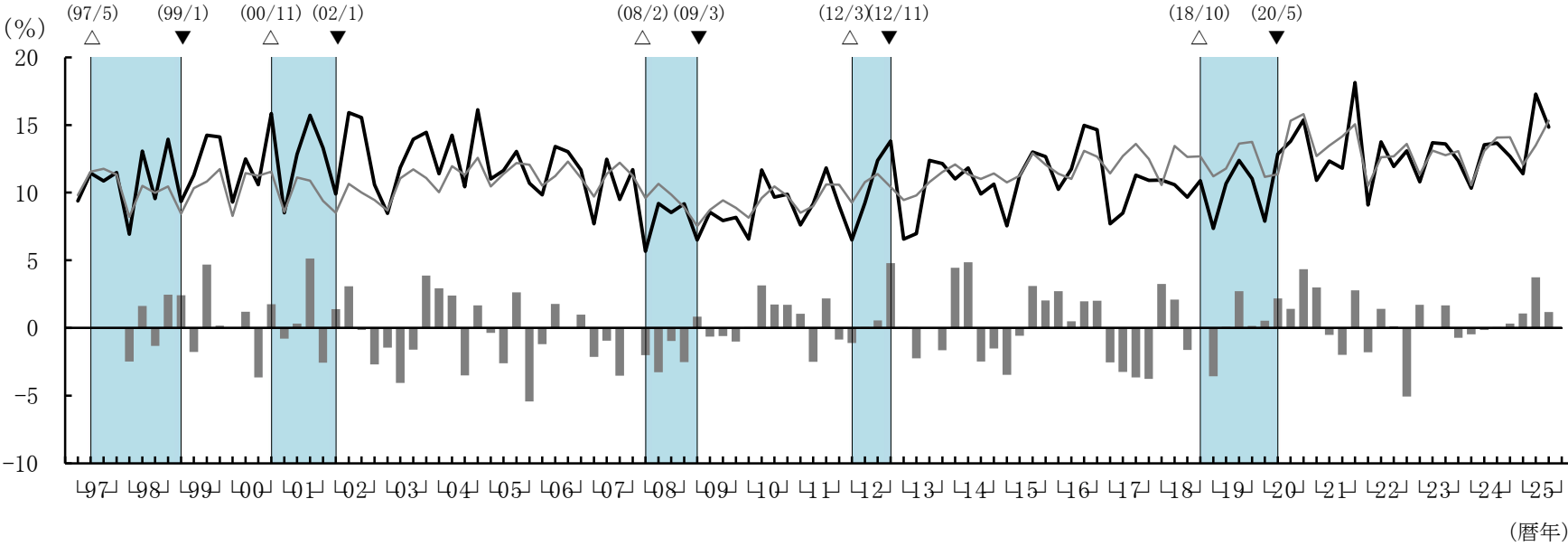
- (注) 1 2022年10-12月期に「原材料高」を追加した。
 2 「その他、特になし」は、「代金回収条件の悪化」「代金支払条件の悪化」「借入難」「その他」「特に問題なし」を合計したもの。
 3 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

6 設備投資

○ 設備投資実施企業割合（全業種計）をみると、前期に比べ、2.5ポイント低下し、14.8となった。

図－6 設備投資実施企業割合の推移（全業種計）

	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9
北海道地区	13.7	12.7	11.4	17.3	14.8
前年同期実績との差	0.1	0.3	1.1	3.7	1.2
(参考) 全国	14.1	14.1	12.1	13.5	15.3



全国中小企業動向調査結果

中小企業編

(2025年7－9月期実績、2025年10－12月期および2026年1－3月期見通し)

北海道地区

中小企業の景況は、一部に弱さがあるものの、

[概況]

持ち直しの動きがみられる。

- 今期(2025年7-9期)の業況判断DIは、前期(2025年4-6期)より3.1ポイント低下し、5.3となった。
来期(2025年10-12期)の業況判断DIは、今期より3.7ポイント上昇し9.0となり、来々期(2026年1-3期)には10.7となる見通し。
- 地域別業況判断DIは、今期は、北海道、関東、東海、近畿、中国の5地域で低下となった。
来期は、すべての地域で上昇する見通し。
- 今期の売上DIは、前期より11.2ポイント低下し15.7となった。
来期は、今期より3.1ポイント上昇し18.8となり、来々期は14.8となる見通し。
- 今期の純益率DIは、前期より5.1ポイント低下し、▲2.6となった。
来期は、今期より4.8ポイント低下し▲7.4となり、来々期は▲6.4となる見通し。
- 販売価格DIは、0.5ポイント上昇し45.9となった。
仕入価格DIは、1.9ポイント上昇し73.2となった。
- 資金繰りDIは、3.6ポイント上昇し5.1となった。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期より1.6ポイント低下し33.0となった。
- 当面の経営上の問題をみると、「売上・受注の停滞、減少」が28.8%で最も高く、次いで「求人難」が22.6%となっている。

[調査の実施要領]

調 査 時 点 2025年9月中旬
 調 査 対 象 当公庫取引先(原則従業員20人以上) 562 社
 有 効 回 答 数 240 社 [回答率 42.7 %]

〈業 種 構 成〉

	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
飲 食 料 品	54 社	16 社	(構成比	6.7 %)
繊維・繊維製品	0 社	0 社	(同	0.0 %)
木材・木製品	19 社	9 社	(同	3.8 %)
紙・紙加工品	2 社	2 社	(同	0.8 %)
化学工業	2 社	0 社	(同	0.0 %)
プラスチック製品	4 社	3 社	(同	1.3 %)
窯業・土石	16 社	9 社	(同	3.8 %)
鉄 鋼	1 社	1 社	(同	0.4 %)
非鉄金属	1 社	1 社	(同	0.4 %)
金属製品	10 社	5 社	(同	2.1 %)
はん用機械	5 社	3 社	(同	1.3 %)
生産用機械	5 社	1 社	(同	0.4 %)
業務用機械	0 社	0 社	(同	0.0 %)
電子部品・デバイス	0 社	0 社	(同	0.0 %)
電気機械	0 社	0 社	(同	0.0 %)
輸送用機械	3 社	3 社	(同	1.3 %)
印刷・同関連	10 社	4 社	(同	1.7 %)
その他製造業	4 社	4 社	(同	1.7 %)
鉱 業	3 社	2 社	(同	0.8 %)
建設業	70 社	28 社	(同	11.7 %)
運送業(除水運)	54 社	23 社	(同	9.6 %)
水 運 業	6 社	3 社	(同	1.3 %)
倉 庫 業	1 社	0 社	(同	0.0 %)
情報通信業	4 社	2 社	(同	0.8 %)
ガス供給業	0 社	0 社	(同	0.0 %)
不動産業	27 社	11 社	(同	4.6 %)
宿泊・飲食サービス業	61 社	31 社	(同	12.9 %)
卸 売 業	69 社	26 社	(同	10.8 %)
小 売 業	50 社	19 社	(同	7.9 %)
サ ー ビ ス 業	81 社	34 社	(同	14.2 %)
【 製 造 業 】	136 社	61 社	(同	25.4 %)
【 非 製 造 業 】	426 社	179 社	(同	74.6 %)

1 業況判断

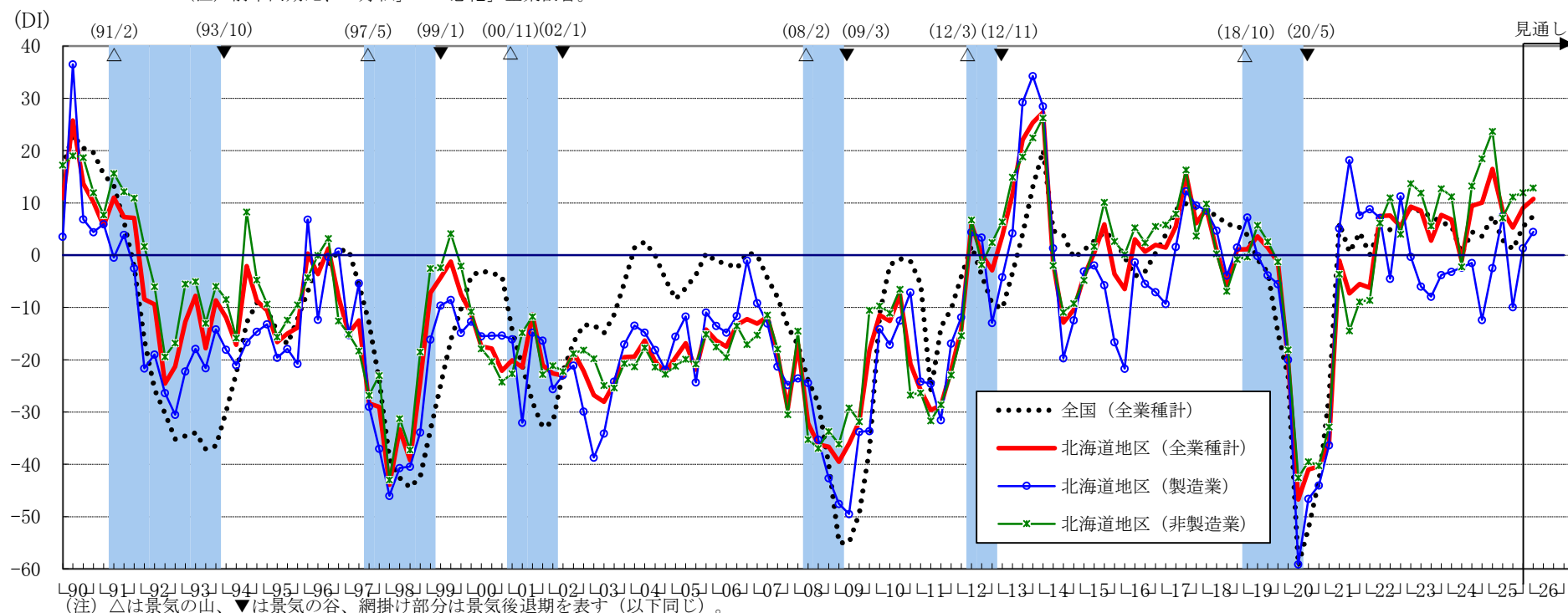
○今期（2025年7-9期）の業況判断DIは、前期（2025年4-6期）より3.1ポイント低下し、5.3となった。

○来期（2025年10-12期）の業況判断DIは、今期より3.7ポイント上昇し9.0となり、来々期（2026年1-3期）には10.7となる見通し。

図－1－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2024/7-9	2024/10-12	2025/1-3	2025/4-6	2025/7-9	見通し 2025/10-12	2026/1-3
北海道地区	9.4	10.0	16.5	8.4	5.3	9.0	10.7
製造業	▲ 1.5	▲ 12.4	▲ 2.4	7.5	▲ 9.9	1.3	4.4
非製造業	13.3	18.5	23.7	7.1	11.2	12.0	12.9
全国	4.4	3.6	7.5	2.9	1.1	5.5	7.5
製造業	▲ 3.4	▲ 4.5	▲ 2.0	▲ 1.3	▲ 5.2	0.1	3.8
非製造業	9.0	8.5	13.3	5.2	4.9	8.5	9.8

（注）前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合。



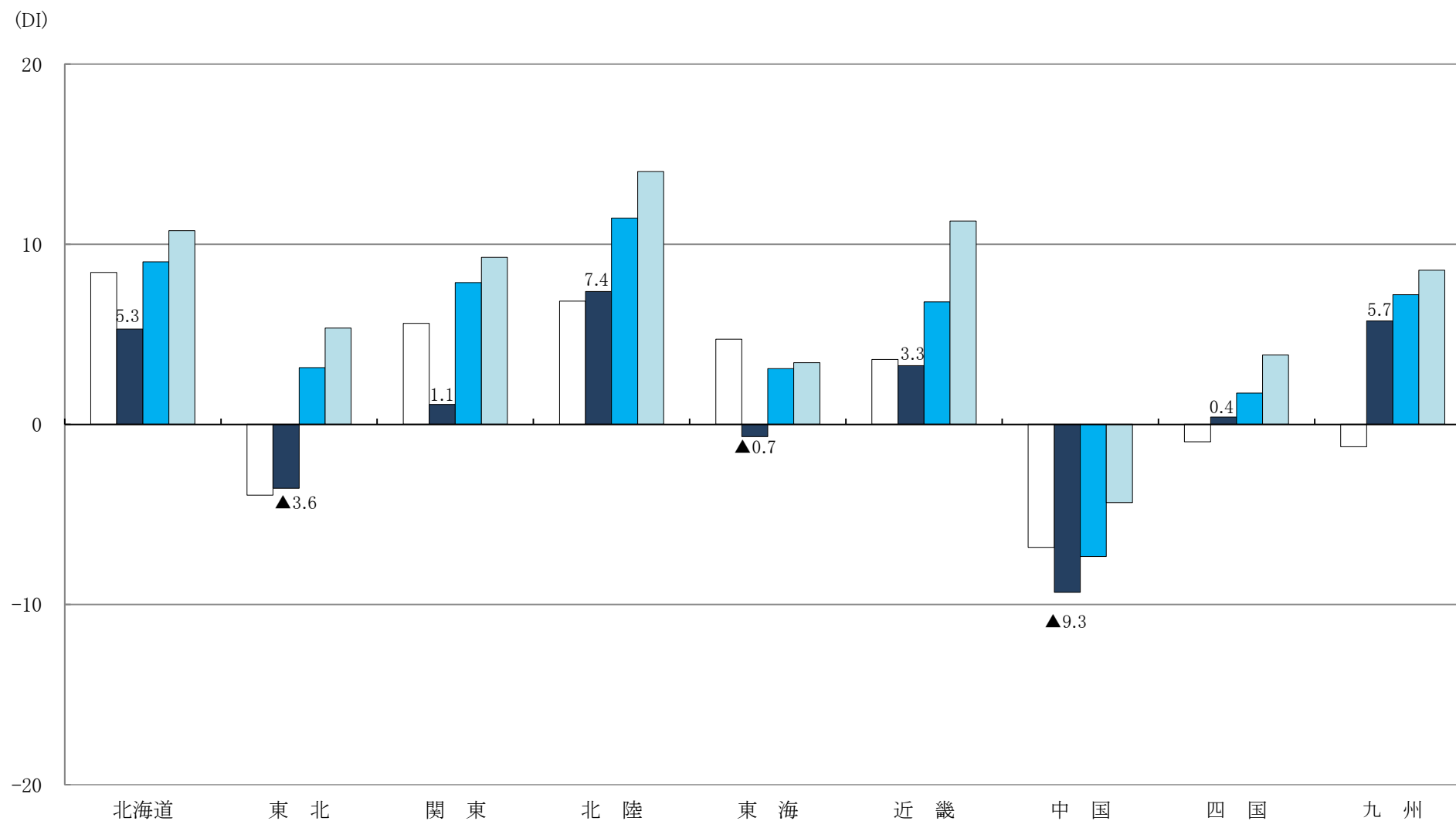
（暦年・四半期）

○ 地域別業況判断DI : 今期は、北海道、関東、東海、近畿、中国の5地域で低下となった。
来期は、すべての地域で上昇する見通し。

図－1－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

（注）前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合。

2025年4-6月期実績 2025年7-9月期実績
2025年10-12月期見通し 2026年1-3月期見通し

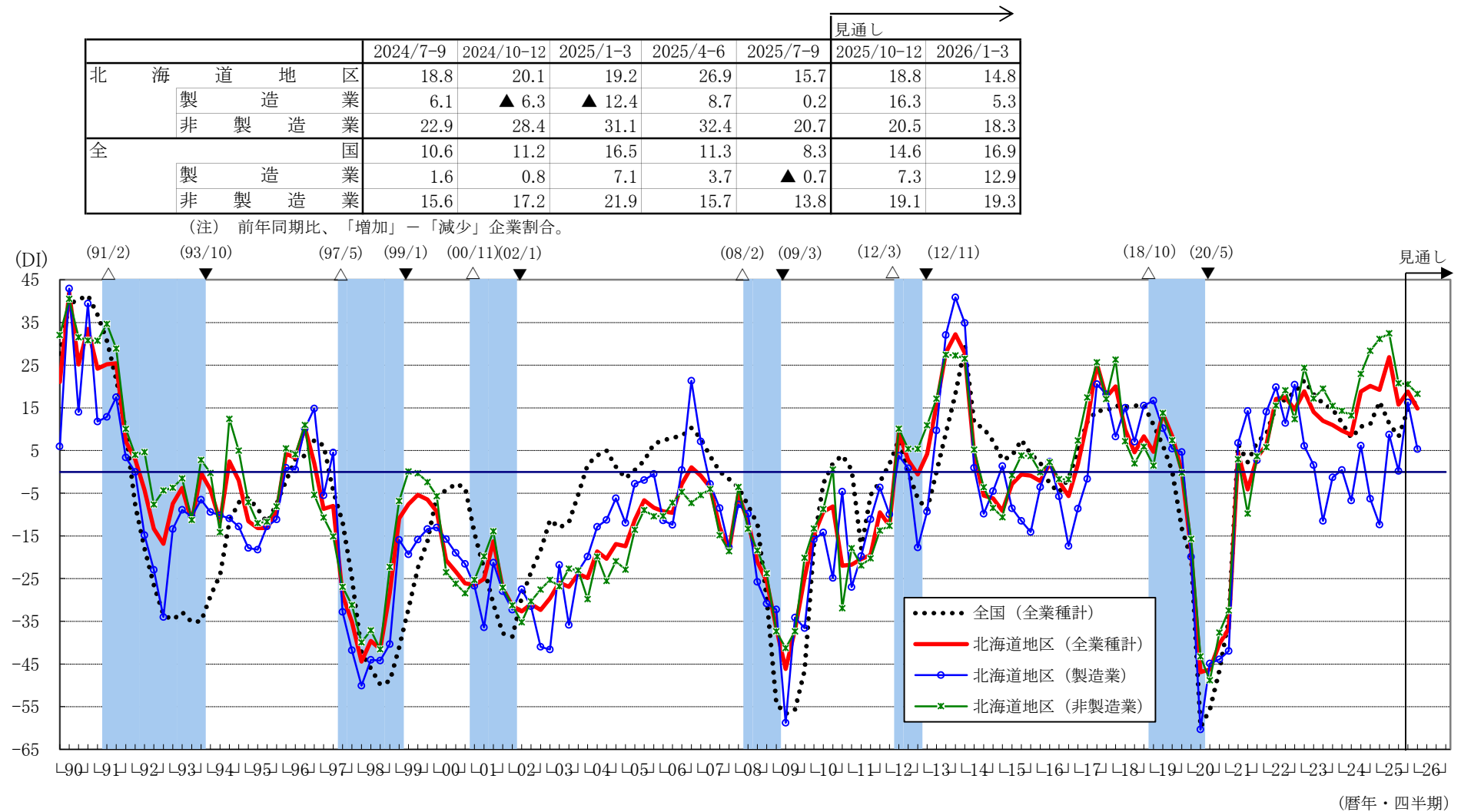


2 売 上

○今期の売上D I は、前期より11.2ポイント低下し15.7となった。

○来期は、今期より3.1ポイント上昇し18.8となり、来々期は14.8となる見通し。

図－2 売上DIの推移（季節調整値）

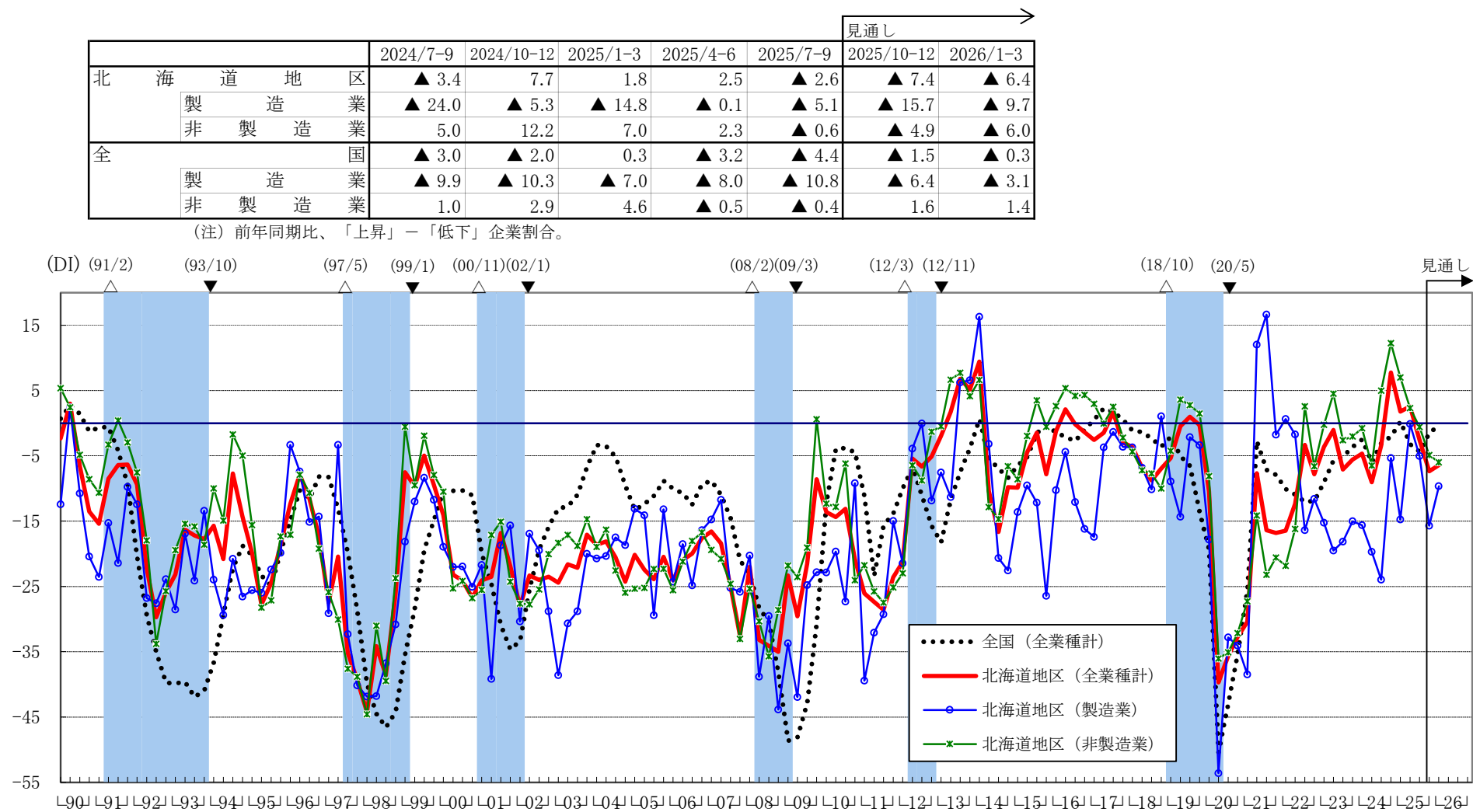


3 利 益

○今期の純益率D I は、前期より5.1ポイント低下し、▲2.6となった。

○来期は、今期より4.8ポイント低下し▲7.4となり、来々期は▲6.4となる見通し。

図－3 純益率DIの推移（季節調整値）



(注) 純益率とは、当該期間内の純利益を同期間内の売上高で割った比率を指す。

(暦年・四半期)

4 価格、金融関連

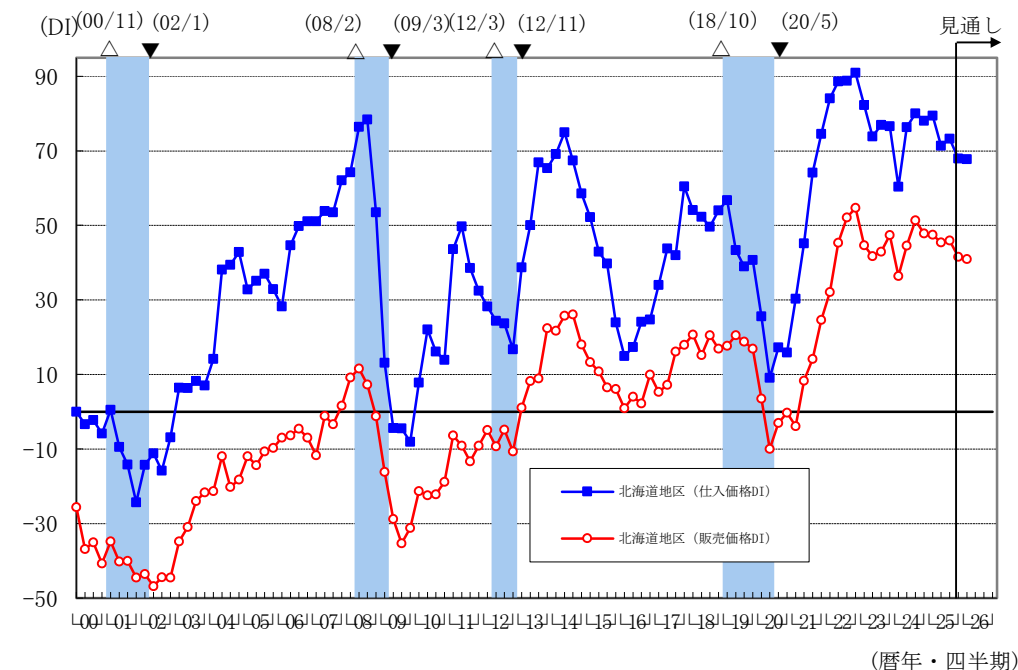
- 価格関連DI : 今期の販売価格DIは、0.5ポイント上昇し45.9となった。
今期の仕入価格DIは、1.9ポイント上昇し73.2となった。
- 金融関連DI : 今期の資金繰りDIは、3.6ポイント上昇し5.1となった。
今期の長期借入難易DIは、0.2ポイント上昇し2.7となった。
今期の短期借入難易DIは、0.1ポイント低下し6.7となった。

図－4－1 価格関連DIの推移（原数値）

	2024/10-12	2025/1-3	2025/4-6	2025/7-9	見通し	
北海道地区						
販売価格DI	47.8	47.5	45.4	45.9	41.5	40.9
仕入価格DI	78.0	79.4	71.3	73.2	67.9	67.7
全 国						
販売価格DI	45.3	43.7	39.7	38.9	36.6	35.2
仕入価格DI	76.0	74.1	67.6	67.7	64.9	62.0

(注) 1 前年同期比、「上昇」－「低下」企業割合。

2 仕入価格における2025年1-3月期までの回答対象は、製造業、建設業、卸売業、小売業。



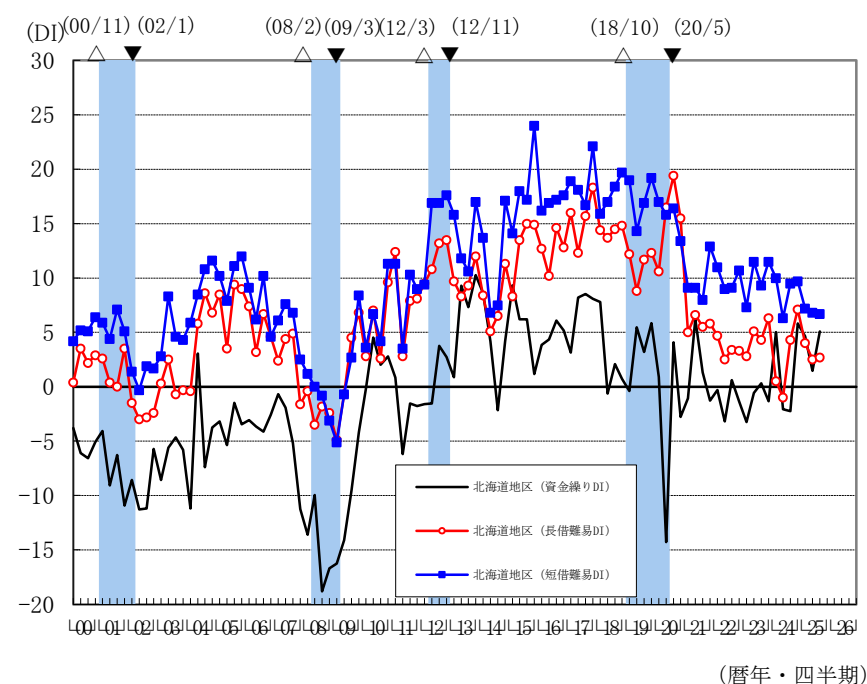
図－4－2 金融関連DIの推移

(資金繰りDIは季節調整値、借入難易DIは原数値)

	2024/7-9	2024/10-12	2025/1-3	2025/4-6	2025/7-9
北海道地区					
資金繰りDI	▲ 2.3	5.8	4.6	1.5	5.1
長期借入難易DI	4.3	7.1	4.0	2.5	2.7
短期借入難易DI	9.5	9.7	7.2	6.8	6.7
全 国					
資金繰りDI	2.4	1.5	1.2	0.5	1.1
長期借入難易DI	3.7	5.0	4.2	3.0	3.7
短期借入難易DI	9.1	11.3	9.9	7.8	9.1

(注) 1 資金繰りDIは前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合。

2 短期・長期借入難易DIは前年同期比、「容易」－「困難」企業割合。



5 雇用、設備

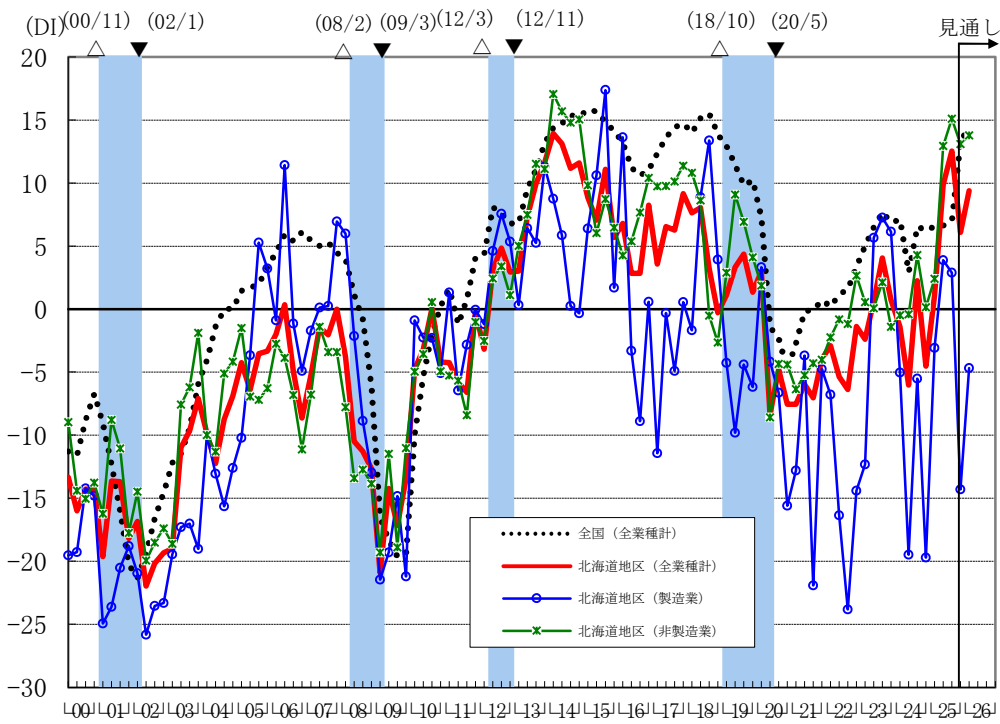
○今期の従業員D Iは、前期より2.6ポイント上昇し12.5となった。

○今期の設備投資実施企業割合は、前期より1.6ポイント低下し33.0となった。

図－5－1 従業員DIの推移（季節調整値）

	2024/10-12	2025/1-3	2025/4-6	2025/7-9	見通し 2025/10-12	2026/1-3
北海道地区	▲ 4.5	1.1	9.9	12.5	6.1	9.4
製造業	▲ 19.7	▲ 3.1	3.9	2.9	▲ 14.3	▲ 4.7
非製造業	0.1	2.4	12.9	15.1	13.1	13.8
全 国	6.2	6.6	6.7	7.0	13.3	14.5
製造業	2.0	0.7	0.5	0.3	7.9	10.5
非製造業	8.8	10.0	10.4	10.9	16.2	16.7

（注）前年同期比、「増加」－「減少」企業割合。

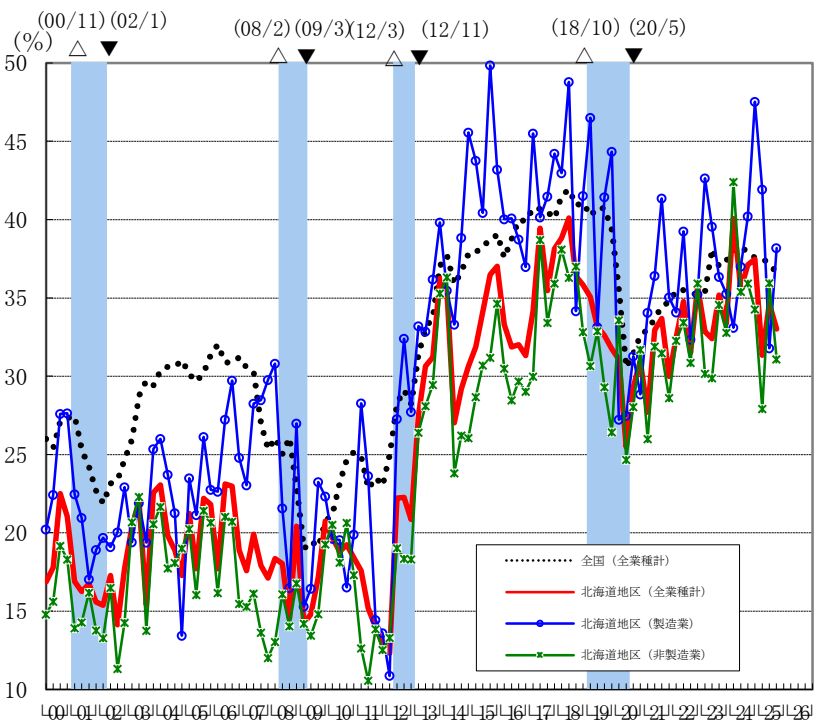


（暦年・四半期）

図－5－2 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2024/7-9	2024/10-12	2025/1-3	2025/4-6	2025/7-9
北海道地区	37.1	37.5	31.3	34.6	33.0
製造業	40.2	47.5	41.9	31.8	38.2
非製造業	35.9	34.3	27.9	35.9	31.1
全 国	37.9	37.6	37.5	37.2	36.6
製造業	42.9	42.9	43.1	42.2	41.1
非製造業	35.0	34.6	34.6	34.0	33.7

（単位：％）



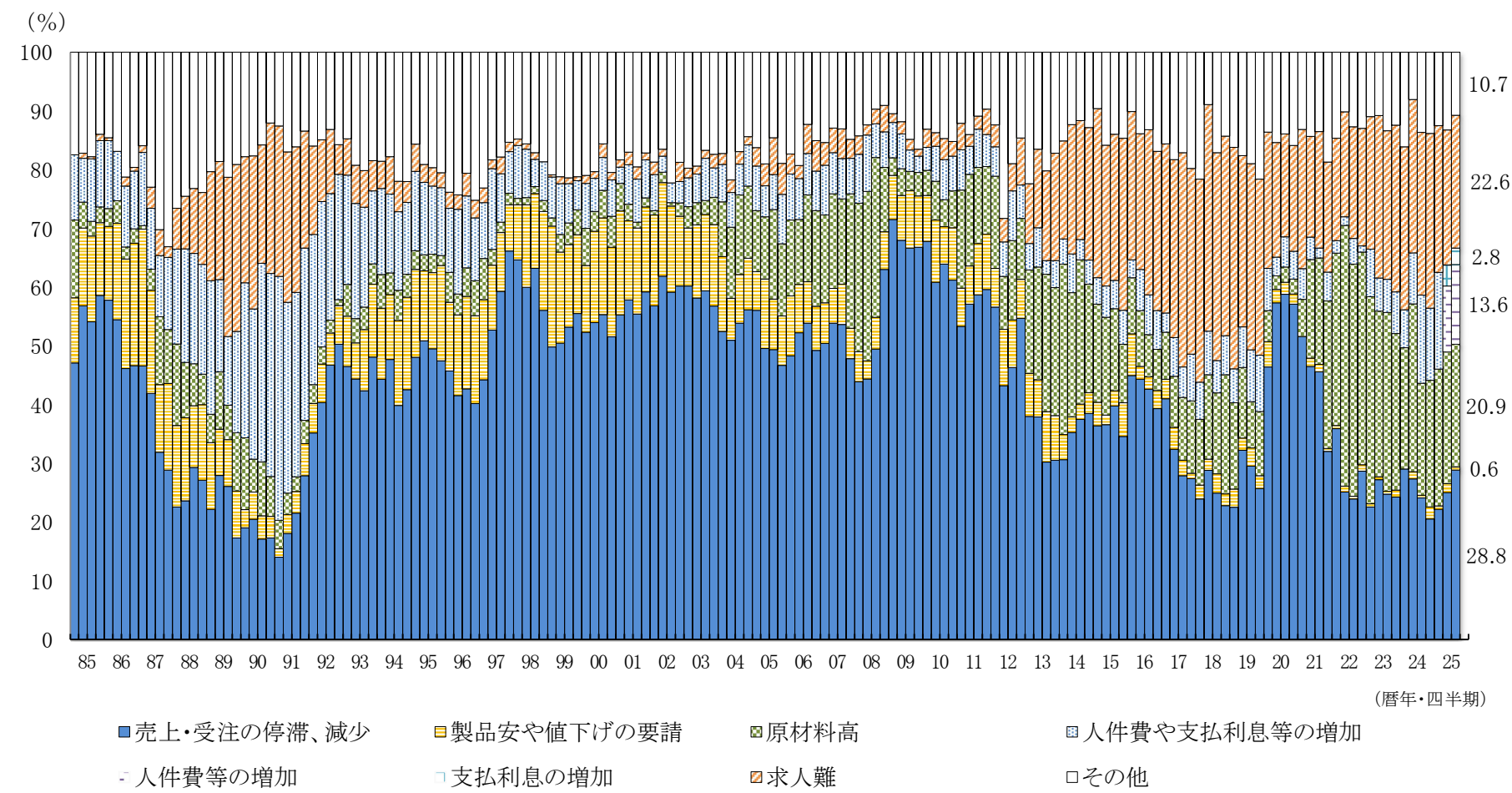
（暦年・四半期）

6 経営上の問題点（北海道地区）

○当面の経営上の問題をみると、「売上・受注の停滞、減少」が28.8%で最も高く、次いで「求人難」が22.6%となっている。

○前年同期（2024年7-9期）と比べると、「売上・受注の停滞、減少」が4.7ポイント上昇し、「求人難」が5.1ポイント低下している。

○前期（2025年4-6期）と比べると「売上・受注の停滞、減少」が3.8ポイント上昇し、「人件費等の増加」が2.3ポイント上昇している。



(注) 1 2025年4-6月期に「人件費や支払利息等の増加」を「人件費等の増加」「支払利息の増加」に分割した。
2 「その他」は、「生産能力の不足」「合理化不足」「代金回収の悪化」「借入難」「その他」を合計したもの。
3 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。